

組合だより

第52号

4月25日
2003年

発行所
岡山大学職員組合
〒700-8530 岡山市津島中2-1-1
電話 086-252-1111(代)
(内線) 7168
直通・FAX 086-252-4148

岡山大学職員組合ホームページ <http://hb4.seikyoku.ne.jp/home/ODUnion/> メールアドレス ODUnion@mb4.seikyoku.ne.jp

衆議院文部科学委員会にて審議入り

国立大学等法人化

(全大協国会速報第2号から転載)

16単組、約70名が国会傍聴満席・立ち見に議員も注目、国が中期目標を定める国あるのか―答弁できず

4月3日の衆院本会議での「国立大学、高専法人関係6法案」で、専任関係6法案」で、の主旨説明・代表質問(全大速報第1号参照)をふまえ、4月16日衆院文教科学委員会で審議入りを行いました。審議では、自民党、民主党、自由党、共産党、社民党が質問を行い、文部科学省遠山大臣等が答弁しました。

徹底慎重審議で一致していること、共産、社民両党が法案反対を決めていること、民主党が修正案を提出する方向で動いていることなど、当初与党の思惑であつた短期間の審議で決着との構図は崩れつつあります。

これは、3・27大規模国会行動をはじめの国会、職場、地域でのとりくみや他団体との幅広い共同の反映です。引き続き、国会、各大学、高専、地域のとりくみを結合し、法案の廃案をめざし、粘り強いとりくみをすすめましょう。

今後4月23日に参事人質疑が行われることが確定しており、その後の審議日程は確定していませんが連休明けの5月7日に引き続き参事人質疑、9日に委員会審議が行われる見込みです。

国会情勢は、与党も本法案が重要法案であることを認め、野党が

「山口議員」文科省は国立大学を様々な制約

「文科省」(反論なし)

がないことで文科省の裁量が大きくなっている。「法人化」の全体像は見えてこないが、今後むしる財政援助を増やすべきである。

「啓蒙的近代が終わる私たちは立ちすくむ」という文章が現れた。恐怖で世界を支配しようとしている怪物に、大義や道義を説いても、意味がない。この怪物の確信は、「強さ」そのものに基つき、その根源はテクノロジーに由来する。ところで進歩をたたえる啓蒙からは、テクノロジーの専制に對抗する発想が出てこない。だから立ちすくむというのである。それを乗り切るには、キリスト教が現世の拒否によってローマ帝国をくじいたのと同じように、一度啓蒙的理念である進歩を断念する必要がある、というのがこの議論の結論である。必ずしも明快な議論ではないが、世界支配に乗り出した暴力の前に立ちすくむおびえがそこにはよく現れている。だが、怪物の「強さ」自身のなかに崩落の可能性があることを見れば、そこまであわてることはないのではない。強い米国の軍事力が、その源泉である経済力を脅かすという指摘もある。何よりも強さを自認した権力には、無惨な墮落だけが待ち受けている。問題は、私たち自身が勇気と誇りを失わないこと自体なのだ。(い)

座標軸

自民党・青山議員 質疑要点

【青山議員】法人化は民営化を前提、あるいは視野に入らず、国立大学としての役割を果たしていくのか。

【文科省】民営化という考えはない。国立大学の役割を高めるため、この法案を体

民主党・藤村議員 質疑要点

【藤村議員】行政組織から脱して、法人格を取得することには反対ではないが、「カネ」の問題で実際に縛りが多く残っている。特定運営費交付金はどのような基準で算定されるのか。

自民党・小淵議員 質疑要点

【小淵議員】地元群馬

(次ページへ)

（前ページから）
 県では群馬大学と埼玉
 大学との再編・統合問
 題で、教育学部が移転
 することに県民から反
 対の声があがっている。
 地元の声に十分配
 慮してほしい。国立高
 専は、求人率も産業界
 からの評判も高く、日
 本のものづくりの現場
 を支えており、非常に
 重要な役割を果たして
 いるが、情報がよく伝
 わってこないことが残
 念。法人化を契機にさ
 らにパワーアップが期
 待される。ひとつの機
 構に一元化されること
 により、国立高専の自
 主性、自律性が失われ
 ないか。

の。また、それを予
 算配分に反映させるの
 は、だれがどのように
 するのか。
 【文科省】絶対的もの
 さしがあるわけではな
 いので、確かにそうい
 ったご心配もあるう。
 国立大学法人評価委員
 会は透明性を確保する
 必要がある。
 【大石議員】どうい
 う「評価」がなされるか
 が日本の将来を左右す
 る。評価委員会につ
 ては省令で定められる
 が、われわれも評価を
 つくりあげるのにもつ
 と関わっていききたい。

＜自由党・佐藤議員
質疑要点＞

【文科省】高専につ
 ては、スケールメリッ
 トを生かすために、ひ
 とつの機構とした。機
 構は学校枠を越えた共
 通の問題に対応する
 が、カリキュラムなど
 日常的な学校運営は各
 校で独立して行う。

＜民主党・大石議員
質疑要点＞

【大石議員】大学を評
 価するのは至難の業で
 ある。89の国立大学
 にそれぞれの中期目標
 があり、各大学により
 違った基準で評価しな
 いといけない。違うも
 のを違うものさしでど
 うやって評価できる

【佐藤議員】国立大学
 の改革がなぜ独法化で
 ないといけないのか。
 きちんと検証しないと
 無責任状態に陥る。行
 財政改革の一環で場
 たりのシヨック療法的
 に改革を行うのは、教
 育・研究にはふさわし
 くない。また、評価の
 結果として、「廃校」
 もあり得るのか。

【文科省】整理統合の
 対象になり得るが、地
 域性などに配慮する。
 【佐藤議員】国立大学
 は地域の核を担って
 おり、地域の要請にど
 う応えていくかが重要
 である。

＜共産党・石井議員
質疑要点＞

【石井議員】憲法23
 条の「大学の自由」に
 由来する「大学の自治」
 は保証するという答弁
 と法案には大きな矛盾
 がある。文科大臣が中
 期目標を定めること
 は、憲法23条を侵す
 ことにならないか。各
 大学にふさわしい研究
 目標を大臣が判断する
 のか。中期目標は大学
 が定めるべき。

【文科省】財政上の理
 由から各大学の原案と
 異なることも考えられ
 るが、原案と違う目標
 を大臣が一方的に定め
 ることはない。目標・
 計画については、各大
 学と十分に協議する。
 なお、大臣は中期計画
 の変更命令ができる
 が、これらは閣議決定
 等により行使が限定さ
 れている。

【石井議員】評価委員
 会の構成、評価基準を
 明確にしてほしい。
 【文科省】必要な事項
 は政令で定める。
 【石井議員】評価委員
 会について政令で定め
 るということは、大事
 な問題が法案に出てい
 ないということ、欠
 陥法案である。政令の
 内容を示すか、法案の
 欠陥を認めるべき。そ
 うでなければこれ以上
 の審議できない。委員長
 の答弁を求めます。

【文科省】必要事項
 は政令で定める。
 【石井議員】評価委員
 会について政令で定め
 るということは、大事
 な問題が法案に出てい
 ないということ、欠
 陥法案である。政令の
 内容を示すか、法案の
 欠陥を認めるべき。そ
 うでなければこれ以上
 の審議できない。委員長
 の答弁を求めます。

長】理事会で協議する。
 【石井議員】国大協の
 の了解は得られてか。

【文科省】検討の過程
 で十分説明し理解を得
 ている。法案提出後、
 各ブロックの国立大学
 長会議で説明したが、
 異論は出なかつた。

【石井議員】検討段階
 から内容が変更されて
 いる部分もあるが、法
 案提出の2月28日以
 降に国大協に聞いてい
 るのか。石副会長の話
 では、学長の間で意見
 が割れていると聞いて
 いる。

＜社民党・山内議員
質疑要点＞

【山内議員】法案に
 「均衡ある発展」とあ
 るが均衡とは何か。

【文科省】学部・大学
 院のバランス、学問分
 野のバランス、地域間
 のバランスである。
 【山内議員】競争原理
 の導入と「バランス」
 は矛盾しないか。教育
 ・研究の特性である自
 主性・自律性は配慮さ
 れるのか。

【文科省】配慮するが、
 自主性・自律性だけで
 は優れた教育研究はで
 きない。

【山内議員】経営は教
 育・研究を支援する関
 係ではないか。民間の
 手法で優れた教育・研
 究は生まれると言える
 のか。また、教授会と

役員会の関係はどうな
 るのか。

【文科省】大学経営は
 これまで以上に重要と
 なる。各大学に必要な
 人材を採用すればよい。
 教授会は法人サイドに
 委ねるため法案に規定
 はないが、学教法に規
 定があるので今後も置
 かれる。教授会と役員
 会とは役割が異なる。

【山内議員】学長選考
 に学内構成員はどうか
 かわるのか。
 【文科省】学長は、学
 長選考会議が選考しそ
 の申し出に基づいて大
 臣が任命する。選考手
 続きは選考会議が決め
 るが、手続きの一環と
 して学内者から何らか
 の意向聴取を行うこと
 もある。

【山内議員】学内構
 成員の意思が十分に反映
 されるべき。また教特
 法を適用すべき。
 【文科省】非公務員型
 なので、公務員法も教
 特法も適用されない。
 【山内議員】重要な問
 題であり、引き続き追
 及していききたい。

第74回岡山県中央メーデーに行こう！

5月1日(木)10時

旭川河川敷相生橋東詰(三光荘前)

岡大西門9時半集合 直接会場に行かれる方は、職員組合の旗に集まって下さい。

散歩道

さくらも、桃も咲き
 急いだ。さくらがまだ
 満開の盛りを過ぎない
 うちに、桃が花開き、
 日々その色合いを濃く
 していった。

あわただしい思いで
 さくらを見、桃を見、
 これで今年の花見は終
 わったと思つて家の外
 へ出ると、さくらはま
 だ散りもせず、艶やか
 な姿をとどめている。
 はらはらと花びらを
 散らしている樹もあれ
 ば、まだまだ満開とい
 つていい樹が、わが世
 の春を謳歌している。

とはいえ、時はす
 でに4月も半ば。咲き誇
 っているように見えて
 も、もうその凋落の兆
 しは争えない。
 その花に小鳥たちが
 群がっている。しきり
 と花をついばんでいる
 のは、蜜を求めてのこ
 とであるうか。

人の気配にぱつと飛
 び立つと、さくらの樹
 の下は、風もないのに
 時ならぬ花吹雪とな
 る。

そんなとき私は好ん
 でその花吹雪のなかに
 身を乗り出す。
 雀飛んで
 花びらが
 肩に散りかかる

花の精を身に受け
 て、私はまた戦いの場
 に向かう。
 (k)

合唱団再開のおしらせ
「アメイジンググレイスを歌う会」

昨年の全国教研交流会発表後、
 休んでいた合唱団が、再開しました。
 お気軽にご参加下さい。

金曜日・午後5時半～7時

月3回 音楽棟で・・・組合にご連絡下さい。